

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状

(ア) 地域アセスメント

神之木地域ケアプラザの担当エリアは ①神之木西寺尾 ②松見 ③大口・七島の3連合町内会です。

【2039年までの人口推計】

神之木西寺尾: 地域人口 ほぼ変化なし。 65歳以上増加、 20～50代減少、0～19歳減少

松見地区 : 地域人口 9%減少。 65歳以上増加、 20～50代減少、0～19歳減少

大口七島地区: 地域人口 7%(1023人)増加。65歳以上ほぼ変化なし、20～50代増加、0～19歳増加

【人口の増減】

前年度と比較し3地区全体では、17名人口が増加しています。女性が46名増加し男性が29名減少しています。

① 神之木西寺尾地区

高齢化率 21.9% 地域の中では 西寺尾2丁目 高齢化率26.53%となっています。

前年度と比較し人口は、60名増加しています。男性が43名増加 女性17名増加となっています。

② 松見地区

高齢化率 22.8% 地域の中では 松見1丁目 高齢化率26.43%となっています。

前年度と比較し人口は、57名減少しています。男性が58名減少 女性1名増加となっています。

③ 大口・七島地区

高齢化率 25.2% 地域の中では 七島町 高齢化率27.39% 西大口 高齢化率26.51%となっています。

前年度と比較し人口は、14名増加しています。男性が14名減少 女性28名増加となっています。

(イ) 地区特性

① 神之木西寺尾地区

起伏のある丘の上の住宅地で、戸建て住宅、集合住宅が混在しています。

地区の西側はJR横浜線に接しており、区域に近接して大口駅があります。

地区内に錦台中学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校があります。

神之木地区にスーパー(ライフ)やドン・キホーテなどの大型商業施設があり、買いものに便利な地域です。

「地区別計画」の推進は、「支え合う「向こう三軒両隣」のまち」を合言葉に、「声かけ隊」として

見守り活動等を推進しています。比較的若い世代が多く住んでいる地域で、第4期かながわ支え愛プランでは

「子どもと地域とのかかわり」を計画に組み入れています。

② 松見地区

起伏のある住宅地です。地区内を横浜線が通っており、西側は港北区に接しています。

戸建て住宅が多い地区です。

最寄り駅としては、東急線妙蓮寺駅・菊名駅を利用される方も多くいます。

地区別計画の目標は、「笑顔であいさつ松見町、住んでよかった松見町」の下、連合・地区社協

町会が一体となって活動を推進しています。

「松見地区ボランティアセンター」では、毎年多くのボランティア活動実績があります。

地区に根付いている3大行事があります。港北小学校に通う生徒も多くいます。

③ 大口・七島地区

JR横浜線大口駅の西側に広がる住宅地です。北側は起伏のある丘になっています。

地区の東側はJR横浜線に接しており、南側に近接して京急線の子安駅があります。

大口駅と子安駅を結ぶように大口通商店街があります。

「高齢者支援」・「世代間交流」・「防災への取組」を3本柱として、各自治会町内会が主体となって

独自の活動を展開しています。各町内会で住民ニーズにあった取り組みが行われています。

(ウ) 課題

【担当地域での課題】

- 1) 単身世帯増加
孤立しないような地域づくり(多種多様なサロン、地域との関係づくり、当事者の関心事へのアプローチ)
- 2) 高齢人口増加
認知症・介護度の高い人への対応(介護予防・フレイル対策、認知症予防、医療連携、権利擁護)
- 3) 人口減少
地域での子ども・子育て支援の充実(サロン・事業への支援)、高齢者と子どもとの関係づくり等による「子育てしやすいまちづくり」
※ 上記、1)、2)の課題は、「地域包括ケアシステム」の機能として取り上げられています。課題3)について、コーディネーターを中心とした取組強化を行います。

① 神之木西寺尾地区

子ども食堂「ぼっかぼか 神之木西寺尾」、高齢者向け配食サービス「神之木西寺尾給食会」などの活動が活発です。コロナ禍での事業実施の難しさがあります。地域ボランティア「神之木住まいる」がありましたが、担い手不足により活動を中止しています。新たな担い手の発掘が課題です。

② 松見地区

松見地区ボランティアセンターが定着しており、ちょっとした困り事(草刈・そうじ・水漏れ修理・ごみ捨て電池交換・買い物代行等)を、地域ボランティアで支え合い、助け合える仕組みを作り上げています。ボランティア活動の継続・充実・体制整備が課題です。

③ 大口・七島地区

町内会の数が多くあります。商業地域と住宅地域の町会があり、それぞれ独自の取組が実施されています。生活圏が神之木地域ケアプラザから遠い地域があり、神之木地域ケアプラザの活動等に参加が難しいといった問題があります。古くからのボランティア活動が盛んでしたが、昨年、担い手不足により中止しています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	従来から実施している相談レビューに加え、職員より朝礼時に「気になる方」の報告を受け、各専門職が相談内容と対応について協議する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・自治会、民生委員児童委員とも相談しながら空き店舗や人が集まりやすい場所を特定し、地域の中で1カ所の相談窓口のサテライトを開設する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・地域の商店街エリア関係者へ認知症サポーター養成講座の開催働きかけを実施する。 ・認知症サポーター養成講座について周知する。(ちらし配架、広報誌等)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアマネジャーを対象に、座談会、勉強会を開催し、虐待の発見、通報、連携について理解を深め、虐待の早期発見、未然防止を図る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・地域ケア会議後の振り返りの時間を計画的にとり、対応について方針を立て必要な継続的支援を行う。 ・COP内で毎月行っている地域支援会議において、振り返りを行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

- 1-1 相談・支援
毎日の朝礼時の相談報告(気になる方等)内容を職員間で情報共有している。
職種間で支援の検討等を行う事でタイムリーに相談者への支援をおこなえるようになってきている。
- 1-3 住民主体の地域づくりの推進体制
地域の中で住民主体で居場所・見守りの支援ができています。
地域との関係づくりからさらに住民主体での地域づくりに繋がるよう継続して実施する。
- 2-1 認知症支援事業
地域ケアプラザが遠いと感じている地域に対し、身近に感じてもらえるよう出張講座(健康アップ講座・お口の健康講座・手ぬぐい体操)を開催できた。
地域の中で、加齢による心身の衰えを予防することから認知症予防支援につながる活動を継続する。
- 2-2 権利擁護業務
権利擁護業務は、独居で認知症になった方等が、その後の自身の生活に資産を適切に使えるよう支援を行いました。
- 2-6 地域ケア会議
「身元保証について」「買い物支援について」のテーマで地域ケア会議を開催できた。
買い物支援についてはICT活用によりどんなことがよくなるのか?等について検討したが、明確な姿が描けなかった。
ICTを活用した買い物の地域ニーズについて再確認と取り組み方法の再検討が必要である。

【全体を通して】

【課題への取組】

- 1. 単身世帯の増加
高齢者単身世帯の増加による特有の課題解決は、地域の中での見守り活動(住民・CM・民生委員・医療機関等)との連携をしながら個別の課題解決を推進している。
 - 2. 高齢人口増加
地域の元気人口を増やすべく、なかなか地域ケアプラザに来れない方も参加できるよう、地域の会館等をお借りして出張講座(健康アップ講座・体操講座・エアロビクス等)を開催している。
 - 3. 人口減少
子育て支援事業を通じて、子育て世代のリフレッシュや情報交換の場を作り、子育てしやすい地域づくりの一助となる活動を行った。
- 【地域福祉保健計画の推進】
区役所と連携し毎月の会議にて地域アセスメントを行い地域情報の共有と支援方針を討議している。
- 【通所介護事業運営について】
平成31年の後半から、通所介護事業デイサービスの利用者が減少し、その後も回復せず事業運営は厳しい状況が続いている。
利用者数の減少に対応し、定員を見直し地域密着型通所介護サービスへの変更を実施した。

□ 区からのコメント

今年度は、コロナから地域の活動が再開される中、できることを模索し、徐々にできることを増やしてきた1年だったかと思います。相談・支援では、毎日の朝礼を情報共有の重要な機会として活用しており、複雑なケースや特殊なケースを中心に援助方針を関係職員で決定したり、地域資源の情報交換なども行っています。また、朝礼の内容を記録したうえでシステムを通して共有しており、職員が当日不在であっても、内容が把握できるよう工夫しています。

住民主体の地域づくりでは、地域の高齢者のニーズを受けて開催したスマホ講座が大きな反響を呼んでいます。専門学校の生徒が講師になって、マンツーマンで理解度に応じた支援を行うことで非常に満足度が高く、生徒もやりがいを感じていると聞いています。新しい形の多世代交流としても注目されていますので、一層の発展を期待しています。

権利擁護では、行政書士を招いた虐待座談会や法律の専門家を講師とした相続・後見の座談会を実施し、ケアマネジャーの日頃の悩みや不安を解消するだけでなく、各々の事例を共有する機会にもなりました。こういった場が出された事例については、区役所とも継続して共有してもらうことで、より良い解決策を練ることができると思います。

地域ケア会議では、身元保証や買い物支援など個別ケースについて、地域住民、学校関係者等を集めて開催しました。日頃から施設内で行っている地域アセスメントにおいて得られた課題を基に、活発な意見交換がなされたと聞いています。今後は、個別レベルを包括レベルに移行する手法について内部で研究し、地域ケア会議の場を上手に活かせるよう工夫してください。

地域に根差した取組により、住民の信頼を得られていると思いますので、今後も地域のニーズに丁寧に対応し、職員も育成しながら効果的な支援を行ってほしいと考えています。また、神之木地域ケアプラザは、障害者の支援などにも強みを持って取り組んでいることと認めます。地域には、学校、地域作業所、カフェなどの社会資源も多くありますので、そういった施設への支援も引き続きよろしくお願い致します。

令和4年度神之木地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公正・中立性の確保について、朝礼報告、相談レビューを通じて対応状況の把握し、指導・啓発を行います。また、利用者アンケートを通じて公正・中立性が確保されているのかを確認します。	個人情報保護、事故の防止については、月次の研修・報告を通じて啓発を行い、事故発生防止及び個人情報保護に努めます。また、事故等の緊急時対応マニュアル及び個人情報保護取扱マニュアルに沿った対応を行います。
実績	職員からの日々の報告や利用者様との契約において、公正・中立性が確保されていることを確認しています。利用者様からのアンケートにより確保されていることを確認しています。	神奈川区地域ケアプラザ所長会でのコンプライアンス研修の内容について、職員と朝礼等で確認を実施しました。メール送受信を含めセキュリティ・個人情報研修等の内容を職員と共有し、事故防止に努めました

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護状態になる事を防ぎ、地域で自立した日常生活が続けられることができるよう支援します。	自立した居宅生活を支えるために適切なサービス情報の提供とサービス計画を提案します。
利用料金・実費負担	1. 原則として利用者の負担金はありません。 2. 通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する場合には、交通費(実費)を負担いただきます。	通常の事業の実施地域を超えて行う居宅介護支援事業については、実施地域を超えたところから公共交通機関を利用した実費を負担いただきます。
職員体制	<input type="checkbox"/> 所長 1名 <input type="checkbox"/> 保健師 1名 <input type="checkbox"/> 主任ケアマネージャ 2名	<input type="checkbox"/> 所長 1名 <input type="checkbox"/> 専従介護支援専門員 2名 <input type="checkbox"/> 兼任介護支援専門員 1名
契約者数	R5年3月末:331名(自社74名、委託257名)	R5年3月末:71名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	状態悪化の防止とADL維持向上のための計画書作成とサービス提供、および再計画の作成		状態悪化の防止とADL維持向上のための計画書作成とサービス提供、および再計画の作成
実施体制	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】9:00～16:05 【定員】 25名(第1号と併せて) * 4月～1月まで	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】9:00～16:05 【定員】 18名(第1号と併せて) * 2月～3月まで

利用 料金 ・ 実費 負担	通所:通常規模・提供時間7～8時間による 第1号:通所型独自サービス1・2 食費:690円(おやつ含む)		通所:地域密着型・提供時間7～8時間による 第1号:通所型独自サービス1・2 食費:720円(おやつ含む)
職員 体制	所長:1名 生活相談員3名 看護職員および機能訓練指導員 3名 介護職員 12名		所長:1名 生活相談員3名 看護職員および機能訓練指導員 3名 介護職員 11名
契約 者数 等	【延べ利用者数】 3,928名 【契約者数】 58名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 751名 【契約者数】 54名

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	貸館交流会 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館登録団体との交流、施設利用についての確認、情報交換	5:地域		団体との交流、利用についての説明、情報後見、利用の変更事項についての説明 ○4月
2	絵本読み聞かせ (地域活動交流)	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	絵本を通じて子どもの感情や情緒を豊かに育むことを目的として活動。活動の主体(読み手)はボランティアであり、ボランティアにとっても活動が生きがい作りとなる。乳幼児や保護者と先輩ママ世代や高齢世代のボランティアとの世代間交流の場ともなっている。	3:養育者及び乳幼児	5	絵本の読み聞かせ(手遊び、紙芝居、パネルシアター他)、ポスター作製を行う。開催時にケアプラザの子育て支援事業の情報提供を行う。 ○読み聞かせの会(4,6,10,12,2月)、ボランティア交流会の会(隔月) ●8,12月 感染症拡大により中止
3	おやこふりーすぺーす (地域活動交流)	平成19年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地区センターブレイルームのような感覚で、多目的ホールを開放。ふらっと親子で遊びに来ることのできるスペースとして提供。情報交換の場とした目的もある。	3:養育者及び乳幼児	5	地区センター休館日の第4月曜日午前中に多目的ホールを開放。 ○毎月1開催 ●12月 感染症拡大により中止
4	スクエアステップ (地域活動交流)	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	昨年に引き続き、地域の福祉活動団体が継続して活動が行えるように支援していく。	1:高齢者	5	スクエアステップ ○月1回(予定) ●4,7,8,9,12,2月 団体判断で中止
5	脳トレ倶楽部 (地域活動交流)	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	脳を使うことによって認知症予防を目的とする。参加者同士と一緒に頑張る仲間としての場の提供。介護予防を意識した生活をしていけるよう支援する	1:高齢者		テキストを用いて、計算・音読・漢字・色読み等を行う。記入形式の問題は参加者が書きやすいようにコピーしたものを使用する。テキストの印刷・会場準備・片付け等を参加者で行っている。月2回(毎月)開催 ●7月衆議院選挙の貸館利用により中止
6	神経難病ふれあい交流会 (地域活動交流)	平成13年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	病気の性質から、地域で孤立・自宅へ引きこもりがちな患者と家族が集まることのできる場所を確保し、参加者同士の仲間作りや社会参加の支援をする。また、それぞれが抱えている悩みを共有することにより、病気に対する不安感や絶望感の軽減を図ることを目的としている。	2:障害児・者	1, 5	神経難病(パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症など)の患者と介護者のための交流会。区役所・ケアプラザ・地域のボランティアが参加。講師を招いての体操・音楽・講演会を行っている。年6回開催(前半5,6,7月 後半10,12,2月)
7	ダブルケアカフェ (地域活動交流)	平成28年度	4共催(1と2)	1優先的に取り組み	社会で孤立しがちなダブルケアの方同士の交流の場を作り、情報交換を行う。子育て情報や介護情報を提供し、一つの場で双方の情報が得られる空間とする。	3:養育者及び乳幼児	2, 4, 5	ダブルケアについての理解、ダブルケア当事者の話、参加者のフリートーク(5月かなーちえでカフェ、11月サテライトでカフェ、2月オンライン)
8	かなプラ子育て応援タイム (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子育て世代の支援、子ども支援	3:養育者及び乳幼児		11月「子供と手をつないで散歩しよう」親子で散歩、保育園の先生から遊びを教えていただく。 2月「赤ちゃん初めてののお出かけ」親子遊びの内容で開催。
9	かみのき子育て支援事業 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援 マタニティ支援 お母さんが楽しめる、妊娠中から産後にかけてのココロとカラダのリフレッシュ。	3:養育者及び乳幼児	5	11月 マタニティ支援として「バランスボール体験会」を開催、地域の助産師さんにも参加いただく。バランスボールを通して参加者同士の交流・情報交換。
10	かみのきくらぶ (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	どなたでも気軽に参加でき、楽しめる。	5:地域		12月「フラワーアレンジ」 地域のお花屋さんを講師に迎え、クリスマス用のフラワーアレンジ。参加者同士参加しながら隣同士で話をする等交流しながら行える。
11	貸館団体支援事業 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館登録団体の発展・継続支援 プログラム検討	1:高齢者	5	団体と一緒に活動プログラム検討、参加内容把握、参加者ニーズ把握、共催プログラムの実施、活動の周知 6,7月

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
12	はーとふるステーション	平成30年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症の理解と啓発。	1:高齢者	5	認知症への理解と共存。当事者と家族の抛り所・CPの周知とボランティア育成を含む内容とする。
13	地域を対象とした認知症サポーター養成講座	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症サポーターの養成。地域にも多くの認知症の人やその人を介護する家族がいることを知ってもらい、温かく見守ることができる地域づくり、自分ができる範囲でのお手伝いができるようなサポーターの養成を目的とする。	5:地域	1	神之木エリアで活躍しているキャラバンメイトを講師に迎え、認知症の正しい理解と認知症高齢者本人とその家族を温かく見守るサポーターの養成講座。 ●6月 まんえん防止により開催中止
14	認知症を理解する講座	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症と認知症対応の知識を深め地域のニーズを共有することで高齢者を取り巻く環境を整備する狙いがある。	5:地域	1	地域のシニアクラブや高齢者の集まりの場で認知症対応や基礎知識、専門医のお話を交えたDVDを放映後にディスカッションや質疑応答で知識を深める。
15	在宅の高齢者に必要な薬剤師の講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	災害時に必要なお薬手帳の所持と啓発等、在宅の高齢者に必要と思われるお薬に関する情報を提供することで高齢者の要介護状態悪化を防止する。	5:地域	1	ケアプラザや地域の会館等を活用させていただき、地域住民にお薬手帳の重要性等について、薬剤師よりお話をしていたたく。
16	内科医による認知症相談会	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医師の立場からのアドバイスをもらうことで、認知症の方やその家族の方が、認知症に対する理解を深め、今後の在宅生活を安心して送っていただけるようにする。	1:高齢者	5	主に第2・第4木曜日の13:30～14:30で申し込み制(一人30分)
17	介護者のつどい	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者がお互いに交流できる場、リラックスできる場、介護に関する講座を提供し、介護者の支援を行う。	1:高齢者	5	介護者同士が話し合える場の提供。参加者に新型コロナワクチン予約状況、新型コロナ禍の過ごし方、本人や介護者の体調の変化、現在の介護の状況や悩み等をテーマに自由にお話頂く。 ●奇数月
18	司法書士・行政書士無料相談会	平成24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の権利擁護のため、法律に関する相談を身近なケアプラザで気軽に相談できる機会を確保する。	1:高齢者	5	司法書士、行政書士による無料相談会開催。 ●6月、10月、令和5年1月
19	ライフデザインノート活用講座	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	神奈川区ご利用者を対象に、ライフデザインノートの周知、普及を図る。	5:地域	1	神奈川区で作成した神奈川区版エンディングノート「ライフデザインノート」作成に必要な講座を区内で開催する。 ●10月
20	ライフデザインノート出前講座	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	神奈川区町内会等のご利用者を対象に、ライフデザインノートの周知、普及を図る。	5:地域	1	神奈川区で作成した神奈川区版エンディングノート「ライフデザインノート」作成に必要な書き方講座を開催する。 ●9月、11月、12月
21	権利擁護事業 誰にも迷惑をかけない葬儀埋葬	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身元引受人、遺言、葬儀、埋葬、自宅の後始末、遺言など「これから準備できること」のうち、制約があり生じている課題を法律的な観点で解決を図るきっかけを作る。	1:高齢者	5	子供がいない方のための法制度、死後事務委任契約と遺言について司法書士に講演をいただく。 ●3月
22	介護予防 (地域活動交流)	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護予防になるような内容・講座を実施し、参加者から地域ニーズ、ケアプラザへのニーズ、課題などを情報収集する。	1:高齢者		5月 スローエアロビクスと介護予防アンケートの実施 6月 体力測定

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
23	かなさんぽ (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の産後の親子支援	3:養育者及び乳幼児	5	マタニティの親子支援、赤ちゃんを連れていける場所を訪ねる。地域の助産婦さんも参加。
24	介護予防 出前講座 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のサロンとの交流、継続支、開催内容の相談	1:高齢者		地域サロンで、体操、脳トレ、レクを開催。脳トレや、レクでは地域支援者が負担が少なく行える内容を実演し、今後の活動に参考していただける内容を提供。 ○7月 大日本町カフェひまわり
25	おはなしのせかい (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①乳幼児や保護者は絵本を知る機会。②活動の主体(読み手)はボランティア。ボランティアにとっては活動が生きがい作り。③世代間交流。④ボランティアの活動の場を広げる。⑤ケアプラザ周知	3:養育者及び乳幼児	1.5	ボランティア主体による出前読み聞かせ。 ●7月 感染症拡大により活動を見送る
26	くーるーむ、ほっとるーむ (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	居場所、クールケア、交流	5:地域		一日フリースペースとして開放。フリーで過ごす場、企画として参加できるコーナーを設け誰でも気軽にア費を運んでいただける内容になっている。 ○くーるーむ(うちわづくり他)7、8月開催、
27	障がいに関する事業 (地域活動交流)	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	障がいに関する理解・啓発 関係機関との連携 地域との連携	2:障害児・者	3.6	8,10,12月 顔合わせ、今後の進め方開催、情報交換 1月 2月に向けての話し合い、情報交換 2月 地域の障がい施設の見学と交流会、情報交換
28	居場所交流会 (地域活動交流)	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の居場所との情報交換・交流・状況把握。	5:地域		参加者との交流・情報交換、助っ人BANK紹介 助っ人BANK、区社協・区民活動支援センターにも協力いただく。
29	すくすくかめっ子方面別交流会 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	かめっ子支援者への支援 交流・情報交換	5:地域		かめっ子支援者との情報交換
30	新春太鼓 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	新年のお祝い 地域の活動者の発表の場 施設間連携	5:地域		地域の活動団体「神之木太鼓」の演奏による新春のお祝い
31	ケアマネジャーと民生委員の勉強会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーと民生委員の交流 ACPの普及啓発	5:地域	1	・神奈川区在宅医療連携拠点による講座実施 ・ACP(人生会議)、もしも手帳の講座実施
32	ふれあい訪問員研修	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ACPの地域への普及啓発	5:地域	1	生活支援コーディネーターと主任ケアマネジャー2名によるACP(人生会議)ともしも手帳の講座の実施
33	サウサリートシニア会勉強会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	マンションに居住している高齢者の在宅生活の維持・向上に向けた支援をサウサリート・シニア会との連携により実施する。	5:地域	1	・主任ケアマネジャーによる講座の実施 ・主任ケアマネジャーの紹介の機関による講座の実施

令和4年度「神之木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,983,071	284,811	16,267,882	16,021,124	246,758	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	11,000	△ 11,000	
横浜市による運営支援	0	332,000	332,000	332,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	0	0	0	13,294	△ 13,294	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	13,294	△ 13,294	
その他	1,977,500	0	1,977,500	1,977,500	0	施設利用料相当額控除
収入合計	17,960,571	618,811	18,577,382	18,354,918	222,464	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,393,071	0	9,393,071	10,425,568	△ 1,032,497	
本俸	6,053,071	0	6,053,071	7,077,639	△ 1,024,568	
社会保険料	800,000	0	800,000	806,433	△ 6,433	
手当計	2,300,000	0	2,300,000	2,300,930	△ 930	
健康診断費	50,000	0	50,000	84,928	△ 34,928	
勤労者福祉共済掛金	30,000	0	30,000	0	30,000	
退職給付引当金繰入額	150,000	0	150,000	150,188	△ 188	
その他	10,000	0	10,000	5,450	4,550	
事務費	3,060,500	0	3,060,500	1,215,573	1,844,927	
旅費	70,000	0	70,000	23,715	46,285	
消耗品費	500,000	0	500,000	175,341	324,659	
会議ठी費	30,000	0	30,000	0	30,000	
印刷製本費	250,000	0	250,000	97,509	152,491	
通信費	500,000	0	500,000	229,505	270,495	
使用料及び賃借料	150,000	0	150,000	124,246	25,754	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	150,000	0	150,000	124,246	25,754	
備品購入費	500,000	0	500,000	13,480	486,520	
図書購入費	50,000	0	50,000	0	50,000	
施設賠償責任保険	0	0	0	32,650	△ 32,650	
職員等研修費	70,000	0	70,000	14,685	55,315	
振込手数料	70,000	0	70,000	27,043	42,957	
リース料	150,000	0	150,000	0	150,000	
手数料	50,000	0	50,000	35,512	14,488	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	670,500	0	670,500	441,887	228,613	
事業費	1,206,000	0	1,206,000	104,924	1,101,076	
運営協議会経費	40,000	0	40,000	0	40,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,166,000	0	1,166,000	104,924	1,061,076	
その他	0	0	0	0	0	
I C T整備費（追加）	0	187,420	187,420	178,410	9,010	
I C T整備費（追加）	0	187,420	187,420	178,410	9,010	
サニタリーボックス（追加）	0	5,000	5,000	1,151	3,849	
サニタリーボックス	0	5,000	5,000	1,151	3,849	
管理費	2,923,000	332,000	3,255,000	3,677,101	△ 422,101	
光熱水費	1,400,000	332,000	1,732,000	2,488,342	△ 756,342	
清掃費	400,000	0	400,000	363,322	36,678	
機械警備費	120,000	0	120,000	89,214	30,786	
設備保全費	1,003,000	0	1,003,000	698,890	304,110	
空調衛生設備保守	250,000	0	250,000	223,036	26,964	
消防設備保守	100,000	0	100,000	106,662	△ 6,662	
電気設備保守	100,000	0	100,000	25,073	74,927	
害虫駆除清掃保守	50,000	0	50,000	12,405	37,595	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	503,000	0	503,000	331,714	171,286	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	37,333	△ 37,333	
修繕費	474,000	92,391	566,391	328,643	237,748	
公租公課	904,000	0	904,000	1,042,556	△ 138,556	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	904,000	0	904,000	1,042,556	△ 138,556	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	17,960,571	618,811	18,577,382	16,973,926	1,603,456	
差引	0	0	0	1,380,992	△ 1,380,992	

自主事業費 収入	0	0	0	11,000	△ 11,000
自主事業費 支出	1,166,000	0	1,166,000	104,924	1,061,076
自主事業 収支	△ 1,166,000	0	△ 1,166,000	△ 93,924	△ 1,072,076

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「神之木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	34,364,351	0	34,364,351	31,277,606	3,086,745	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	13,700	△ 13,700	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	13,700	△ 13,700	
その他	162,000	0	162,000	162,000	0	
収入合計	40,482,351	0	40,482,351	37,409,306	3,073,045	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	37,391,351	0	37,391,351	34,707,557	2,683,794	
本俸	21,013,351	0	21,013,351	18,652,967	2,360,384	
社会保険料	4,500,000	0	4,500,000	4,414,711	85,289	
手当計	11,000,000	0	11,000,000	10,981,824	18,176	
健康診断費	50,000	0	50,000	19,318	30,682	
勤労者福祉共済掛金	10,000	0	10,000	0	10,000	
退職給付引当金繰入額	800,000	0	800,000	628,562	171,438	
その他	18,000	0	18,000	10,175	7,825	
事務費	1,054,000	0	1,054,000	2,427,357	△ 1,373,357	
旅費	30,000	0	30,000	30,325	△ 325	
消耗品費	200,000	0	200,000	391,371	△ 191,371	
会議贈り費	10,000	0	10,000	10,800	△ 800	
印刷製本費	100,000	0	100,000	228,519	△ 128,519	
通信費	200,000	0	200,000	536,063	△ 336,063	
使用料及び賃借料	0	0	0	169,691	△ 169,691	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	169,691	△ 169,691	
備品購入費	50,000	0	50,000	124,955	△ 74,955	
図書購入費	20,000	0	20,000	20,790	△ 790	
施設賠償責任保険	50,000	0	50,000	76,183	△ 26,183	
職員等研修費	20,000	0	20,000	25,325	△ 5,325	
振込手数料	50,000	0	50,000	63,132	△ 13,132	
リース料	200,000	0	200,000	0	200,000	
手数料	50,000	0	50,000	93,863	△ 43,863	
地域協力費	0	0	0	800	△ 800	
その他	74,000	0	74,000	655,540	△ 581,540	
事業費	1,134,000	0	1,134,000	622,260	511,740	
協力医	630,000	0	630,000	420,000	210,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	270,000	0	270,000	17,932	252,068	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000	0	154,000	150,920	3,080	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000	0	80,000	33,408	46,592	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	777,000	0	777,000	1,244,478	△ 467,478	
光熱水費	400,000	0	400,000	661,458	△ 261,458	
清掃費	100,000	0	100,000	96,579	3,421	
機械整備費	40,000	0	40,000	23,715	16,285	
設備保全費	237,000	0	237,000	185,774	51,226	
空調衛生設備保守	80,000	0	80,000	59,288	20,712	
消防設備保守	20,000	0	20,000	28,352	△ 8,352	
電気設備保守	20,000	0	20,000	6,663	13,337	
害虫駆除清掃保守	10,000	0	10,000	3,297	6,703	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	107,000	0	107,000	88,174	18,826	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	276,952	△ 276,952	
修繕費	126,000	0	126,000	62,793	63,207	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	40,482,351	0	40,482,351	39,064,445	1,417,906	
差引	0	0	0	△ 1,655,139	1,655,139	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	504,000	0	504,000	202,260	301,740	
自主事業 収支	△ 504,000	0	△ 504,000	△ 202,260	△ 301,740	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:神之本地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・地域密着型通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9,600	9,872	-272	12,120	11,180	940	13,560	10,481	3,079	53,520	50,062	3,458	1,440	1,733	-293
	その他	0	0	0	0	60	-60	0	60	-60	780	1,397	-617	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	780	0	780	0	0	0
	その他	0	0	0	0	60	-60	0	60	-60	0	1,397	-1,397	0	0	0
収入合計(A)		9,600	9,872	-272	12,120	11,240	880	13,560	10,541	3,019	54,300	51,459	2,841	1,440	1,733	-293
支出	人件費	0	0	0	5,486	4,194	1,292	13,281	11,967	1,314	39,435	38,979	456	0	0	0
	事務費	0	0	0	336	301	35	702	881	-179	4,106	4,519	-413	0	0	0
	事業費	0	0	0	18	37	-19	25	74	-49	5,280	5,190	90	0	0	0
	管理費	0	0	0	642	595	47	761	688	73	2,763	2,816	-53	0	0	0
	その他	5,940	6,214	-274	8,700	8,157	543	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額															
	消費税															
	介護予防プラン委託料	5,940	6,214	-274	8,700	8,157	543	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計(B)		5,940	6,214	-274	15,182	13,284	1,898	14,769	13,610	1,159	51,584	51,504	80	0	0	0
収支 (A)-(B)		3,660	3,658	2	-3,062	-2,044	-1,018	-1,209	-3,069	1,860	2,716	-45	2,761	1,440	1,733	-293